



谷文晁筆「離合山水図」(双幅のうち左幅) 文政9年(1826)



谷文晁筆「疊嶂飛瀑図」 寛政2年(1790)

寛かん政せい文ぶん晁ちようと  
烏からす文ぶん晁ちよう

2026 5月29日(金)～6月28日(日)

休館日 毎週月曜日

開館時間 10時～16時

入館料 一般 ..... 500円  
高校生・大学生 ... 300円  
(中学生以下は無料)

展示解説会

第1回：5月30日(土) 11時より

第2回：6月 7日(日) 11時より

# 寛政文晁

かん  
せい  
ぶん  
ちよう

藤田記念博物館では、これまで白河藩主松平定信と深いつながりのある江戸絵画の巨匠 谷文晁(1763~1841)とその周辺絵師の絵画作品等の収集に努めてまいりました。

今回の企画展では、新たに当博物館所蔵となった作品も含め文晁の画風変遷にスポットをあてた展覧会です。30歳代のいわゆる「寛政文晁」作品と画風転換期を経て50歳以降の「鳥文晁」作品を比較展示するものです。寛政文晁作品からはみずみずしく静謐な画風が伝わり、鳥文晁作品では豪快な筆づかいの作風や様々なジャンルを折衷した作品なども見ることができます。この機会にぜひ江戸絵画の巨匠谷文晁の作品を鑑賞してみたいはいかがでしょうか。

# と 鳥文晁

から  
す  
ぶん  
ちよう



3



2



1

- 1 谷文晁筆 「富嶽図」 寛政年間
- 2 同 「驟雨山水図」 寛政11年(1799)
- 3 同 「秋晩山水図」菅茶山賛 寛政年間



# 鳥文晁

- 4 谷文晁筆 「雪景紅葉図」 天保2年(1831)頃
- 5 同 「牡丹飛燕図」 文政4年(1821)
- 6 同 「青緑山水図」 文政年間



4



5



6

※「文」の書体が鳥が飛んでいるように見えることから、鳥文晁と呼ばれています。